



## 平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 夢真ホールディングス

コード番号 2362 URL <http://www.yumeshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 大央

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 片野 裕之

TEL 03-3210-1212

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	6,998	30.5	645	44.4	724	56.3	426	57.3
28年9月期第1四半期	5,362	4.4	447	△28.2	463	△36.5	271	△34.8

(注)包括利益 29年9月期第1四半期 785百万円 (148.5%) 28年9月期第1四半期 315百万円 (△26.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	5.72	5.72
28年9月期第1四半期	3.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	20,618	13,217	58.5
28年9月期	19,117	13,511	65.7

(参考)自己資本 29年9月期第1四半期 12,068百万円 28年9月期 12,569百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	17.50	—	17.50	35.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	15.00	—	20.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,800	32.4	3,600	47.9	3,600	46.2	2,100	29.4	28.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) 株式会社エクストリーム・スポーツ、Ke epdata株式会社、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期1Q	74,573,440 株	28年9月期	74,573,440 株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	86 株	28年9月期	86 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期1Q	74,573,354 株	28年9月期1Q	74,573,354 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 連結の業績概況

当第1四半期連結累計期間（平成28年10月1日～平成28年12月31日）における世界経済は、中国経済や英国のEU離脱問題を抱える欧州経済で先行き不透明な状態が続いているものの、インドネシアやマレーシアなどのアジア一部地域では、GDP成長率や国外からの投資が堅調に伸びてきている状況です。我が国の経済については円安進行を反映し、企業収益に回復の兆しが見られ、雇用及び所得環境について緩やかな改善傾向にあり、それに伴い個人消費に持ち直しの動きが見られました。

このような状況の下、当社グループが属する人材派遣業界におきましては、日本全体として労働人口が減少している中、特に、工事数の増加傾向に対し、高齢化及び若手不足が進んでいる「建設業界」、技術革新が著しい「IT業界」の人材不足は深刻な状況となっています。そのため、建設業界及びIT業界に対し「高付加価値の人材」を供給するべく、経営資源を集中し人材の確保を進めてまいりました。

その結果、売上高に関しましては、技術者の増員に起因した建築技術者派遣事業及びエンジニア派遣事業の伸張により前年同期比1,635百万円（30.5%）増加の6,998百万円となりました。

営業利益に関しましては、建築技術者派遣事業にて派遣単価の改善が順調に進んだことで、前年同期比198百万円（44.4%）増加の645百万円となりました。

経常利益に関しましては、営業利益の増加により前年同期比260百万円（56.3%）増加の724百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益に関しましては、経常利益の増加により、前年同期比155百万円（57.3%）増加の426百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、下表のとおりとなります。

（単位：百万円）

	平成28年9月期 第1四半期	平成29年9月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	5,362	6,998	+1,635	30.5%
営業利益	447	645	+198	44.4%
経常利益	463	724	+260	56.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	271	426	+155	57.3%

## ② セグメント別の業績概況

当社の報告セグメントは「建築技術者派遣事業」、「エンジニア派遣事業」、「教育関連事業」及び「IT関連事業」の4つとなります。

各セグメントの主な事業及び事業会社については、下表をご参照ください。

(平成28年12月31日現在)

セグメント名	主な事業の内容	事業会社名
建築技術者派遣事業	・ 建築現場への施工管理技術者派遣 ・ CADオペレーター派遣	(株)夢真ホールディングス
エンジニア派遣事業	・ 製造、IT業界へのエンジニア派遣	(株)夢テクノロジー
教育関連事業	・ ハイクラスITエンジニアの育成 ・ 建設IT技術者の育成 ・ 建設関連国家資格の取得対策講座	(株)夢エデュケーション
IT関連事業	・ 建設業界へのITサービス ・ ITを活用したFXトレードサービス ・ ビッグデータプラットフォームの提供	(株)ギャラクシー (株)ソーシャルフィンテック Keepdata(株)
その他事業	・ 建設業及び製造業への人材紹介 ・ フィリピン現地人材への日本語教育 ・ スポーツ業界向け人材紹介	(株)夢エージェント BuzzBox(株) Yumeagent Philippines corp. (株)エクストリーム・スポーツ

セグメント別の業績については、次のとおりとなります。なお、セグメント利益又は損失に関しましては、営業利益と調整を行った数値となります。

また、当第1四半期連結会計期間から報告セグメントの区分を変更しており、前年同期との比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で表示しております。

## (a) 建築技術者派遣事業

(単位：百万円)

	平成28年9月期 第1四半期	平成29年9月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	4,025	5,278	+1,252	31.1%
セグメント利益	386	676	+289	74.8%
期末技術者数	2,908人	3,578人	+670人	23.0%
期中平均技術者数	2,859人	3,503人	+644人	22.5%

## &lt;当事業の概況&gt;

当社グループの中核事業であります建築技術者派遣事業におきましては、ゼネコン各社が抱える技術者の「高齢化」、「若手不足」の影響により、派遣需要は旺盛に推移いたしました。また、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック関連工事及びリニア中央新幹線関連工事などが今後本格化することを鑑み、年間採用人数2,000人計画とし採用活動に注力してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間にて533人(前年同期458人)の入社となりました。それに伴い平成28年12月末現在の在籍技術者数は前年同期比670人増加の3,578人となっております。

## &lt;当事業の業績&gt;

売上高に関しましては、技術者の増員による稼働人数の増加及び派遣単価の改善により、前年同期比1,252百万円31.1%増加の5,278万円となりました。

セグメント利益に関しましては、派遣単価の改善により売上総利益率が前年同期比3.6ポイント上昇したことに加え、販売費及び一般管理費率を一定にコントロールしたことにより、前年同期比289百万円(74.8%)増加の676百万円となりました。

(ご参考) 四半期連結会計期間毎の業績推移

① 前連結会計年度(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	平成28年9月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	4,025	4,400	4,267	4,707
売上原価	2,970	3,045	3,027	3,327
原価率	73.8%	69.2%	71.0%	70.7%
売上総利益	1,055	1,355	1,239	1,379
総利益率	26.2%	30.8%	29.0%	29.3%

② 当連結会計年度(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	平成29年9月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	5,278	—	—	—
売上原価	3,704	—	—	—
原価率	70.2%	—	—	—
売上総利益	1,573	—	—	—
総利益率	29.8%	—	—	—

(b) エンジニア派遣事業

(単位:百万円)

	平成28年9月期 第1四半期	平成29年9月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	1,330	1,659	+328	24.7%
セグメント利益	89	123	+33	37.2%
期末エンジニア数	903人	1,195人	+292人	32.3%
期末平均エンジニア数	883人	1,171人	+288人	32.6%

&lt;当事業の概況&gt;

エンジニア派遣事業におきましては、主要顧客である製造業各社において円安進行の追い風を受け、全体の景況感は緩やかな上昇傾向にあり、競争力を担保するための合理化及び省力化への投資需要は引き続き高い水準となりました。

また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界においても、インフラ整備による投資をはじめ、大きく成長が見込まれる先端IT技術(フィンテック技術、拡張現実(AR)、バーチャルリアリティ(VR)、Internet of Things(IoT)など)への投資も拡大しております。いずれの業界も依然として人手不足は深刻化しており、エンジニアに対する需要は引き続き活況となりました。

このような事業環境の下、若手及び女性エンジニアの活躍が期待できる新たなマーケットの開拓を進めてまいりました。また、主に機械及び情報系技術者の採用強化を掲げ、採用活動に注力してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間にて107人(前年同期88人)の入社となりました。それに伴い平成28年12月末現在の在籍エンジニア数は前年同期比292人増加の1,195人となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、エンジニア数の増加により、前年同期比328百万円(24.7%)増加の1,659百万円となり、セグメント利益では、前年同期比33百万円(37.2%)増加の123百万円となりました。

## (c) 教育関連事業

(単位：百万円)

	平成28年9月期 第1四半期	平成29年9月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	—	4	—	—
セグメント損失(△)	—	△71	—	—

## &lt;当事業の概況&gt;

教育関連事業におきましては、平成28年5月より事業を開始し、講座カリキュラムの作成、教育研修施設の整備及びホームページの作成など、先行投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4百万円、セグメント損失は71百万円となりました。

## (d) IT関連事業

(単位：百万円)

	平成28年9月期 第1四半期	平成29年9月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	—	51	—	—
セグメント損失(△)	—	△12	—	—

## &lt;当事業の概況&gt;

IT関連事業は、当第1四半期連結累計期間に新設したセグメント区分であり、主に建設業界へのITサービス及びITを活用したFXトレードサービスの提供などを行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は51百万円、セグメント損失は12百万円となりました。

## (e) その他事業

(単位：百万円)

	平成28年9月期 第1四半期	平成29年9月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	17	32	+14	85.5%
セグメント損失(△)	△19	△20	0	—

## &lt;当事業の概況&gt;

その他事業におきましては、主に建設及び製造業各社に対し、人材紹介を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は32百万円、セグメント損失は20百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,500百万円増加し、20,618百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加119百万円、預け金の増加304百万円、投資有価証券の増加942百万円等によるものです。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて1,794百万円増加し、7,400百万円となりました。これは主に借入金の増加1,359百万円、未払費用の増加212百万円等によるものです。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて294百万円減少し、13,217百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益426百万円、剰余金の配当による減少1,305百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月4日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、新たに設立した株式会社エクストリーム・スポーツを連結の範囲に含めております。

また、Keepdata株式会社は平成28年11月30日の株式取得に伴い、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。



## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,723,679	8,613,444
受取手形及び売掛金	3,642,377	3,761,629
たな卸資産	850	4,550
その他	988,449	1,355,550
貸倒引当金	△21,661	△23,988
流動資産合計	13,333,695	13,711,186
固定資産		
有形固定資産	1,352,637	1,342,198
無形固定資産		
のれん	1,175,159	1,269,931
その他	45,560	141,238
無形固定資産合計	1,220,720	1,411,170
投資その他の資産		
投資有価証券	1,566,017	2,508,691
その他	1,660,553	1,652,309
貸倒引当金	△33,517	△35,587
投資その他の資産合計	3,193,053	4,125,413
固定資産合計	5,766,412	6,878,782
繰延資産		
株式交付費	17,706	28,479
繰延資産合計	17,706	28,479
資産合計	19,117,814	20,618,448
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,100	55,534
短期借入金	100,000	1,647,742
1年内返済予定の長期借入金	791,300	793,800
未払法人税等	252,290	219,889
賞与引当金	381,982	176,020
その他	2,014,827	2,547,012
流動負債合計	3,551,500	5,439,999
固定負債		
長期借入金	1,644,950	1,454,057
退職給付に係る負債	258,413	267,638
資産除去債務	44,874	44,932
その他	106,493	194,289
固定負債合計	2,054,731	1,960,918
負債合計	5,606,231	7,400,917

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	9,554,645	9,611,425
利益剰余金	2,314,738	1,436,409
自己株式	△9	△9
株主資本合計	12,674,521	11,852,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△96,610	221,886
為替換算調整勘定	△4,515	△2,416
退職給付に係る調整累計額	△4,094	△4,100
その他の包括利益累計額合計	△105,220	215,369
新株予約権	95,721	77,224
非支配株主持分	846,559	1,071,964
純資産合計	13,511,582	13,217,530
負債純資産合計	19,117,814	20,618,448

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	5,362,459	6,998,269
売上原価	3,968,188	4,980,765
売上総利益	1,394,270	2,017,504
販売費及び一般管理費	947,038	1,371,904
営業利益	447,231	645,600
営業外収益		
受取利息	2,937	683
受取配当金	19	26
投資有価証券売却益	—	10,884
為替差益	—	65,030
受取家賃	24,464	27,147
その他	12,333	5,715
営業外収益合計	39,754	109,487
営業外費用		
支払利息	7,245	6,059
賃貸収入原価	9,993	14,424
その他	6,266	10,295
営業外費用合計	23,505	30,779
経常利益	463,481	724,308
特別利益		
新株予約権戻入益	387	17,031
特別利益合計	387	17,031
税金等調整前当期純利益	463,868	741,340
法人税、住民税及び事業税	71,351	205,459
法人税等調整額	104,144	80,462
法人税等合計	175,495	285,922
四半期純利益	288,372	455,418
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,064	28,714
親会社株主に帰属する四半期純利益	271,308	426,703

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	288,372	455,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,327	327,168
為替換算調整勘定	—	2,099
退職給付に係る調整額	1,271	651
その他の包括利益合計	27,598	329,919
四半期包括利益	315,971	785,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,966	747,294
非支配株主に係る四半期包括利益	22,005	38,043

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	教育関連 事業	IT関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,025,404	1,330,414	—	—	5,355,819	6,639	5,362,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	10,752	10,752
計	4,025,404	1,330,414	—	—	5,355,819	17,392	5,373,211
セグメント利益 又は損失(△)	386,791	89,815	—	—	476,606	△19,757	456,849

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材紹介事業を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	476,606
「その他」の区分の損失(△)	△19,757
セグメント間取引消去	3,818
のれんの償却額	△13,436
四半期連結損益計算書の営業利益	447,231

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## 2. 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	教育関連 事業	IT関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,278,314	1,659,329	4,824	50,651	6,993,120	5,149	6,998,269
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	1,048	1,048	27,109	28,158
計	5,278,314	1,659,329	4,824	51,700	6,994,169	32,258	7,026,428
セグメント利益 又は損失(△)	676,292	123,198	△71,827	△12,099	715,564	△20,313	695,251

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材紹介事業を含んでおります。

## ② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	715,564
「その他」の区分の損失(△)	△20,313
セグメント間取引消去	4,409
のれんの償却額	△47,560
全社費用(注)	△6,500
四半期連結損益計算書の営業利益	645,600

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## ③ 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、(株)ギャラクシー及び(株)ソーシャルフィンテックを、また当第1四半期連結会計期間においてKeepdata(株)を連結子会社として取得したことにより、「IT関連事業」を新たな報告セグメントとして新設しております。

また、当連結会計年度からスタートした中期経営計画に基づき、今後の事業展開を勘案し、従来「建築技術者派遣事業」、「エンジニア派遣事業」、「人材紹介事業」及び「その他事業」の区分で開示しておりました報告セグメントを当第1四半期連結会計期間より変更することといたしました。「その他事業」の区分を見直し、「その他事業」に含まれていた「教育関連事業」を新たに報告セグメントとし、人材紹介事業を報告セグメントに含まれない事業セグメントとする変更を行っております。

これにより、当第1四半期連結会計期間より「建築技術者派遣事業」、「エンジニア派遣事業」、「教育関連事業」及び「IT関連事業」を報告セグメントとして開示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

## ④ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間においてKeepdata(株)を連結子会社として取得したことにより、当第1四半期連結累計期間において、のれんの額が147,563千円増加しております。

なお、当該のれんの額は、報告セグメントに配分しておりません。